

「回覧文書の電子化」の実証実験アンケート集計結果

【実証実験の目的】

全国的にデジタル化が進む中で、本市においてもデジタル化とそれに伴うペーパーレス化に取り組む必要があります。現在、広報誌等は紙による回覧板によって、各行政区の区長及び班長を通じて配布していますが、多くの紙を使用し区長並びに班長の配布の負担が大きいことから、紙での配布を廃止し、回覧板の電子化を検討するため、福原地区・大沢地区で「回覧文書の電子化」の実証実験を行いました。

【実証実験期間】

令和6年2月、3月の2か月間 計4回分

【対象の行政区】

- ・福原地区…101区、102区、105-1区
- ・大沢地区…大沢上1区、大沢上2区、大沢上3区、八幡台第1区、八幡台第2区

【集計方法】

令和5年4月4日の区長文書でアンケート配布

下記いずれかの方法で回答

- ①アンケート用紙に記入後回収
- ②QRコード読み取り後、アンケートフォームにて入力、送信

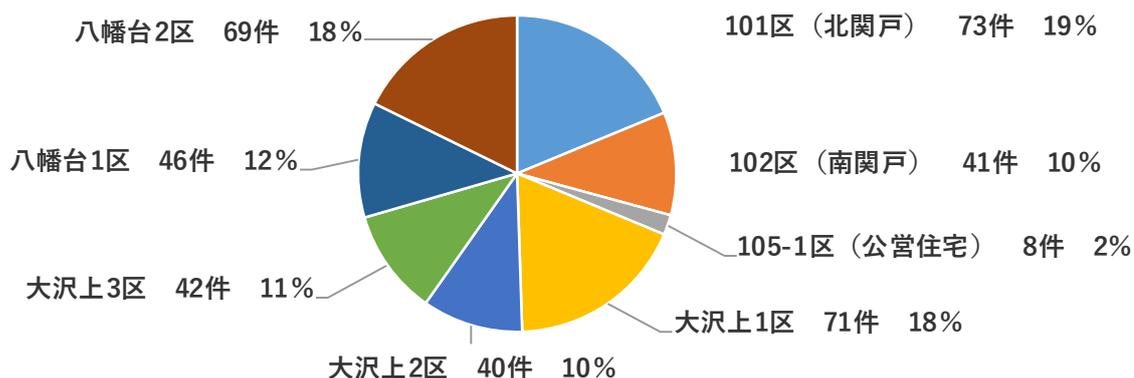
【集計結果】

以下のとおり

※意見については、主なものを掲載。

回答者様の情報

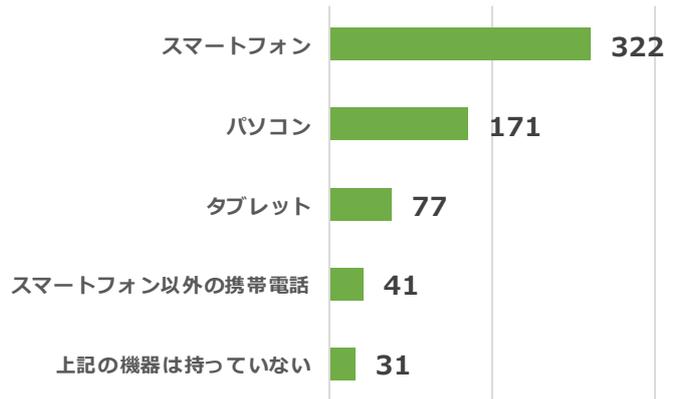
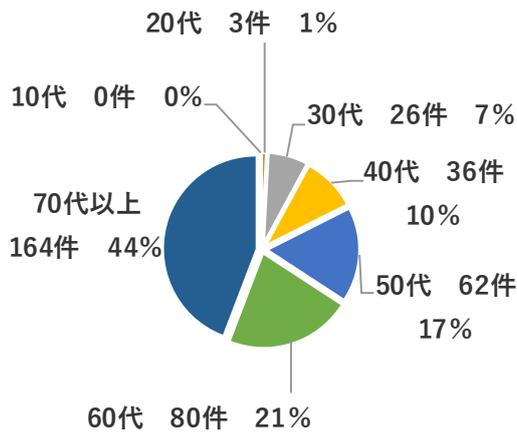
●お住まいの行政区



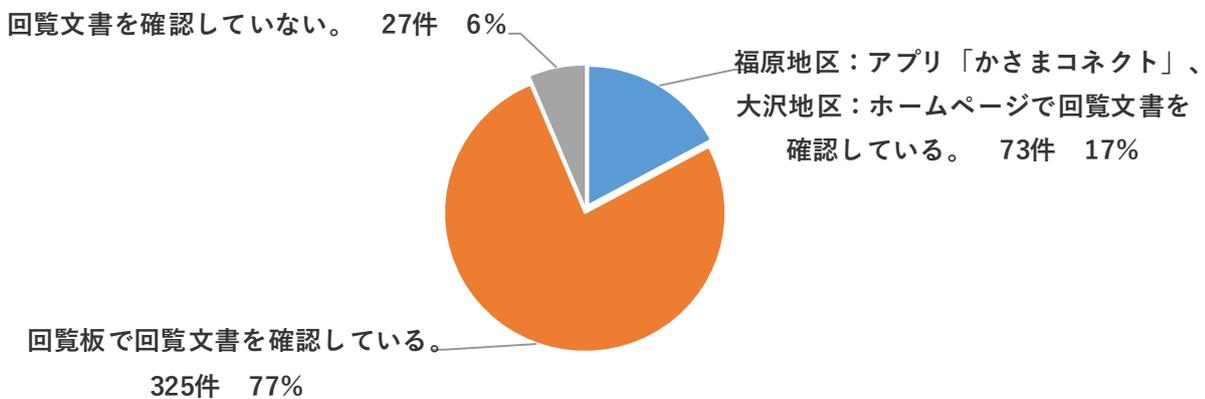
	101区	102区	105-1区	大沢上1区	大沢上2区	大沢上3区	八幡台1区	八幡台2区	合計
配布世帯数	99	93	59	108	99	124	91	89	762
回答数	73	41	8	71	40	42	46	69	390
用紙での回答	53	29	1	33	32	28	29	50	255
QRコードでの回答	20	12	7	38	8	14	17	19	135
回答率	74%	44%	14%	66%	40%	34%	51%	78%	51%

●年齢

●持っている情報端末をすべて選択してください。

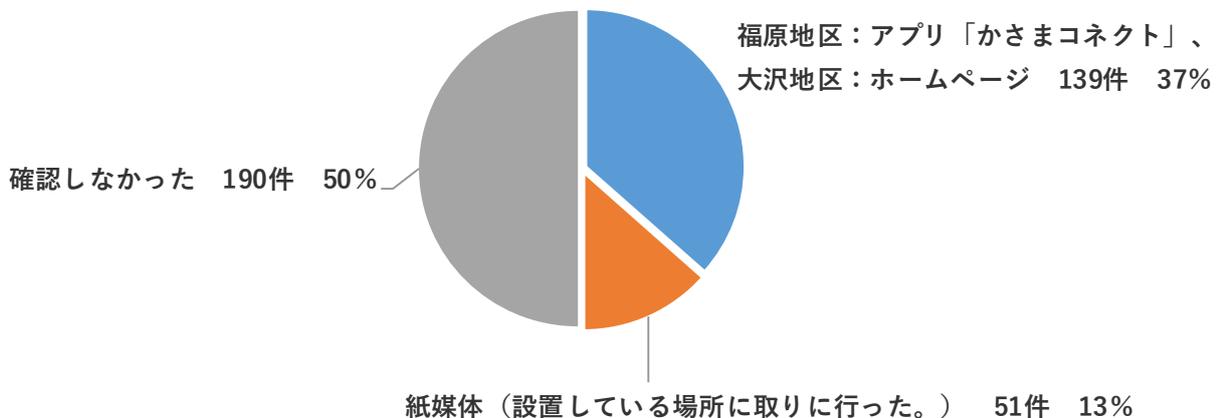


●普段（実証実験開始前）の回覧文書の確認の有無と確認方法をすべて選択してください。



「回覧文書の電子化」実証実験の取組について

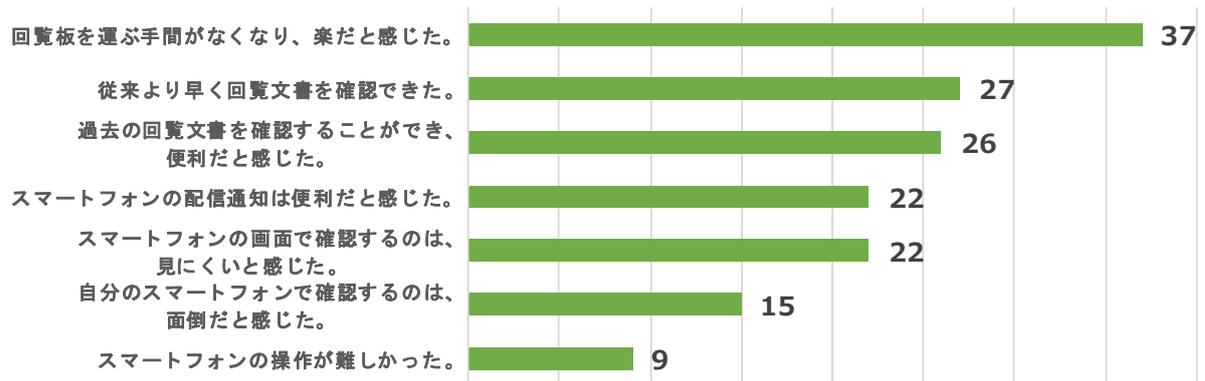
Q1. 実施期間中に回覧文書をどのように確認しましたか？



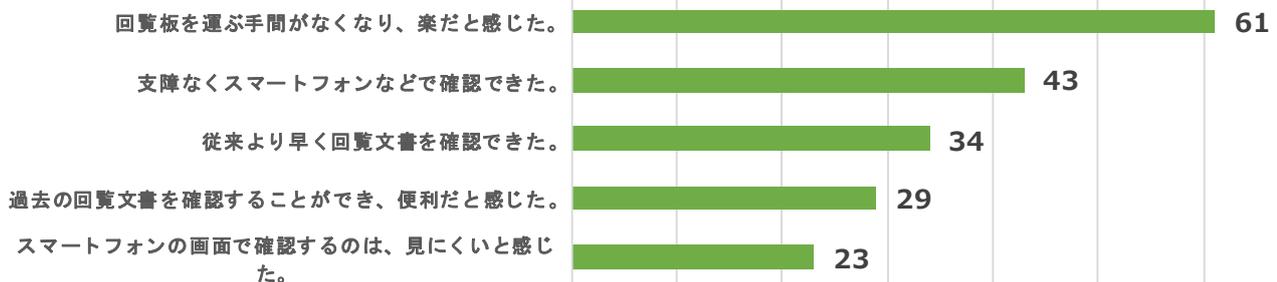
【Q1で“ホームページもしくは“アプリ”と回答した”方】

Q2. あてはまるものをすべて選択してください。※複数選択可

福原地区



大沢地区



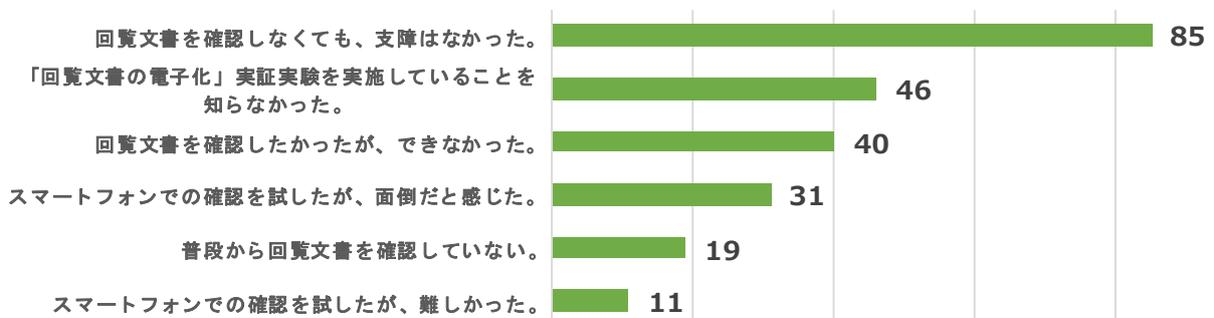
【Q1で“紙媒体（設置している場所に取りに行った。）”と回答した”方】

Q3. あてはまるものをすべて選択してください。※複数選択可

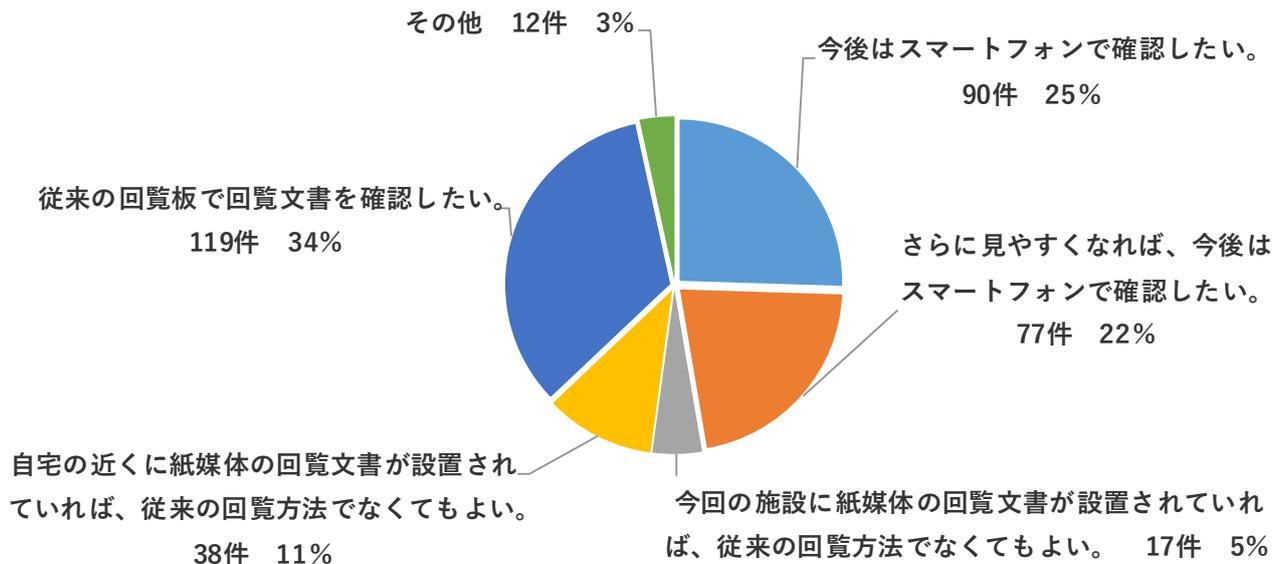


【Q1で“確認しなかった。”と回答した”方】

Q4. あてはまるものをすべて選択してください。※複数選択可



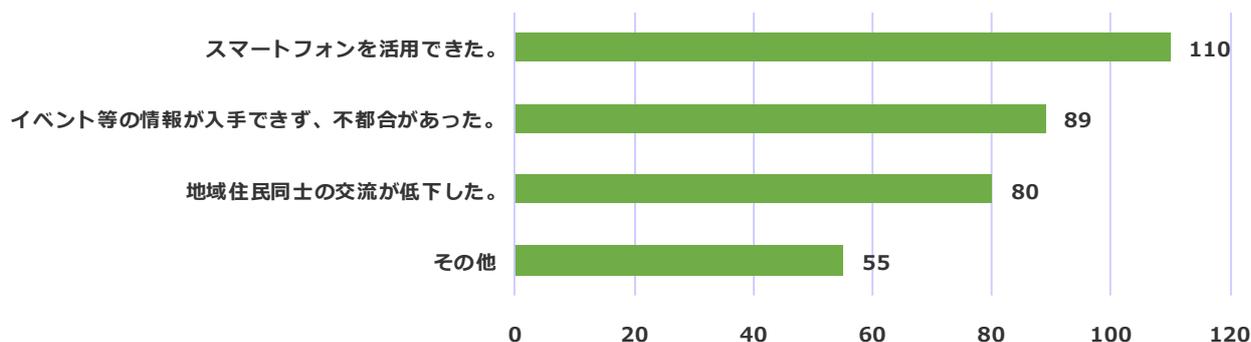
Q5. 今後の回覧文書の確認方法について、あてはまるものを1つ選択してください



“その他”を選択した方のご意見

- ・確認する意思はあるが、見るタイミングが分からずそのままになってしまったので、情報が更新されたタイミングにメール等で通知が来れば必ず確認すると思う。
- ・個人的には回覧文書の必要性は無い。行政側で広報の必要性から配布しているのでは。
- ・回覧文書が公開されたタイミングで笠間市のLINE等で個人に通知し、リンクを共有してほしい。※紙媒体の回覧板は回ってくるのが遅い等が気になっていたため、電子化は良い試みだと思います。しかし、いつ回覧文書が配信されるか把握できていなかったため、結局忘れてしまい、「確認したかったが出来なかった」状態となりました。
- ・これまで、回覧板が回ってくる順番が遅かったり班内でスムーズに回覧板が回らなかったり、毎月どのタイミングで回覧文書が発行されていたかわからなかった。その為、事前に周知はあったとしても、電子化された回覧文書を見るタイミングを逸し、アンケート調査の依頼が来て、あっさういえばという状態。電子化することは良いことだと思うので、回覧文書が更新される時期をしっかりと周知し、電子閲覧が広まるよう取り組んでほしい。
- ・今まで通り班の組織を継続するのであれば、紙媒体でよいと思う。班の組織をなくすのであれば、スマートフォンを希望する。
- ・年配の人には字が見づらいので貸出はスマートフォンよりタブレットのほうがいいのかと思う。もっと見やすいほうがいい。住所を登録すれば必要な情報だけ見れるとか。ほかの情報があると、どれだろう?となってしまう。

Q6. 回覧板の電子化により影響があったと感じるものをすべて選択してください。※複数選択可



“その他”を選択した方のご意見

【賛成意見】

- ・短期間であったのであまり不便は感じなかった。
- ・通知が来るので情報を早く得ることができた。
- ・今回は特別不都合はなかった。
- ・否定的もしくはマイナスの影響は皆無だった。
- ・回覧を回していても書類が全然減っていないくて、取らない方も多いんだなといつも感じるので、資源の無駄や印刷代等の支出を節税してほしいと感じます。ただ自分からいつが回覧が出る日だ！とも覚えてられないので、通知が来るといいと思います。
- ・回覧板での住民交流に関しては、高齢者ほど班を抜ける人が多く、現役世代はポスト間のやりとりとなっているので、そもそも交流の役目を果たしていない。
- ・とにかく直ぐに次の家庭へ回覧板を回さなければいけない！という事だけが頭にあり、その場で内容を確認する事なく次へ回しています。そういった焦りから解放されると、気持ちが楽になります。班内の連絡事項は写真に撮る、広報誌などはネットで読むなどして、自分のペースでゆっくり内容を確認できる為、世代によっては電子化された物の方が大切な情報をしっかりと入手し易いと感じます。

【反対意見】

- ・便利な点は理解できるが高齢者（一人暮らし）には面倒。
- ・手が不自由なため、スマートフォンでは画面が小さく1ページ全体が読みづらい。
- ・行政区に入らない方が多くなるのではないかと。
- ・いつホームページが更新されるかわかるようにしてほしい。
- ・見落としが起こりやすい。
- ・市の行政情報がわからず不安だった。
- ・誰もが使いこなせるわけではない。
- ・一つ一つダウンロードしなければ開けなく面倒だった。
- ・思っていた以上に回覧板に頼っていたことを実感した。アンケート用紙が届くまで電子化されていたことを忘れていた。
- ・出席を要する行事がある時には、電子回覧板で詳細を確認したが、それ以外の時には、電子回覧板を開くことが手間であり、確認することはなかった。
- ・今回、不都合はなかったが、必要な情報を見逃す可能性もあったかと思う。

その他ご意見ご要望ご感想など

【賛成意見】

- ・スマートフォンに不慣れ方はきちんと確認出来ているかなと心配になった。こちらから声をかけるのも余計な事かとも思った。電子化については賛成。
- ・スマートフォンの活用が苦手な方もいると思うが、どうしても紙媒体で見なければ公民館などの施設に設置していると思うので、一番は回覧板を運ぶ手間がなくなり楽だと思った（また、区長・班長の手間も省ける）。
- ・最近どこの会社でもペーパーレス化が進んでいるため、出来るものはどんどん電子化するべき。
- ・市報は約2年前からスマホで見ているため、紙の市報は確認していない。
- ・わたしの街 Kasama マガジンなども電子化して紙の削減をはかる。
- ・スマートフォンやパソコンを使えない方を調査して、その方にタブレットを貸出し、使い方を教えることで、電子化100%に向けて市が推進する。
- ・笠間市LINE 利用中。
- ・市民として必ず知らなければならない情報は市から個人宛に連絡が来るので回覧文書がなくても生活に支障はない。回覧文書は各種イベント情報が中心なので、月2回の配布である必要はなく月1回、2月に1回でよいのでは。
- ・回覧板に便乗して配布依頼される社会福祉協議会の配布物は、区長を通してではなく業者に依頼するよう社会福祉協議会に指導していただきたい、と山口市長にもつねづねお話ししている。ぜひ回覧文書の電子化をお願いしたい。
- ・スマートフォンの画面が小さいのでタブレットはパソコンのほうが画面が大きくて見やすい。回覧は重くて回すのに大変。カサママガジンの36ページはとても重いのでこれらは電子化すべき。電子化はとてもいい方法、少しずつ取り入れていってほしい。
- ・配布しても見ない人が多いのでやめてもいいと思う。ゴミの減量になる。紙資源削減と同時に印刷費用の無駄使いである。回覧板は廃止し、タブレットを全戸数に配布するのが良いと思う。
- ・紙媒体は減らす方向付けが良いと思う。
- ・簡単に見られれば、電子版でもOK。
- ・回覧文書などを取りにいく区長さんの手間がなくなる、資源の無駄にもならないと思う。これまで特に回す必要性を感じたことが無かったので、スマホからの閲覧でよい。必要なことはホームページを見たり、問い合わせをしたりでこと足りています。
- ・普段から回覧板を必要とせず不都合な事はありません。離れた家まで届ける事が毎回負担であり、1部ずつ取るのもゴミになるので迷惑で仕方なかったです。届けずに済んで快適でした。資源の無駄です、回覧板辞めてください。調べられない方は公共施設等に紙媒体があれば済むことです。回覧板、無くしてください。
- ・必要な情報を早く確認することができるので、電子化をぜひ実現して頂きたい。
- ・一人暮らしで長期に不在にすることがあり、お隣に回覧を飛ばして回すように都度お願いしている。早く対応頂いているが、とても気が引ける。
- ・回覧物を手配する区長さんの労苦は大きいと感じられる。高齢となる自分の姿を想像すると、役割引き受けを依頼されるようなことがあった場合、引き受けられる自信はない。高齢者の多い周囲を見ても今後の持続性はあやしいと思われる。
- ・紙資源や経費の節約・有効活用（取られずにそのまま回覧されてくる配布物が多いように感じる）

・電子化の内容に大きな問題はないが、以下が実現できればベターと感じた

①各媒体をホームページにアップロードするタイミングは、すべて同時に行う。

(実験期間中、各種団体の媒体が広報より遅れてアップロードされた時があった。遅れると見逃す可能性が高い)

②A4サイズの印刷物フォーマットはスマートフォンには不適(PCでは問題ない)。スマートフォンをメインに想定するのであれば、テキストベースのフォーマットがよいのではと思う。(人によって意見は異なるかも)

・回覧板の電子化には賛成であるが、自ら取りに行かないと情報を入手できない点やスマートフォンでは非常に見づらい点などを考慮すると、従来の回覧方法の方が良いのではないかと感じた。まずは、スマートフォンでも快適に閲覧できる環境にして頂けるように改善をお願いしたいです。また、図書館やスーパー、コンビニなどで紙媒体を入手して閲覧することが期間中は多かったため、何かのついでに取得できるよう市報の設置場所を増やして頂くことを強く希望します。

・コロナ感染対策で玄関先に置くのは現在も続けている。今更交流云々を回覧板で求めるには無理がある。

・今後は民間、行政を問わずサービスの電子化は避けられなくなると思う。電子化に不慣れな方々も身近で安全な回覧サービスを利用することで電子機器の使い方を体験でき、より多くの電子サービスを活用する入り口に繋がると思う。回覧の電子化は今後も継続した方が良いと思います。

・電子化にあたり皆がもれなく電子端末を所有出来る、したくなる仕組み(助成金等)が必須だと感じます。

・班がなくなりつつあるので電子化は良いと思う。

・手間や資源の節約につながるため電子化を是非進めてほしいです

・年月の経過によりスマホを苦手とする人は減ってくるので、今すぐではなくとも電子化はすすめてほしい。

・平日は市役所にいけないので書類などもPDFなど電子化で手続きできるといいと思います。

・回覧板が継続されることになったとしても、回す負担が大きいので回数を減らしてほしい

【反対意見】

・携帯で見るのは大変なので、普通に回覧で内容を見たほうがわかりやすい。

・スマートフォンを持っているが、電話以外使っていない。

・拡大できない、QRコードが動かないなどは改善できていたが、目が疲れてしまい短時間しか見ることが出来なく、日々視力低下が進んでいるため今後の不安がある。「広報かさまお知らせ版」「広報かさま」は引き続き市役所、図書館などにおいてほしい(近所に高齢者が多い)。

・まだスマホからイベントなど申し込みをしたことがなく、スムーズにできるかも不安。(市役所入り口にあったドコモさんもいなくなってしまった)

・拡大してきているため画面を何度も動かす必要があり、見づらい気がする。画面を横に変えることはできるか。

・回覧の役割とはなにか。近隣とのつながり(わずかな文書)が薄れて高齢化する今、行政の役割とは。個人化が進む今、紙減らしだけの手っ取り早い話ではない。行政に口出ししないさせない勝手なお役所仕事だけがまかり通っている現状に疑問。お知らせを見たいときはどこへ行けば良いのか。

・以前のように回覧板でいいと思う

・高齢になるとスマートフォンやパソコンは文字も小さいし見ずらく検索も大変。身近においてあればいつでも開けてみることができ便利。ペーパーレスの時代になってくるかと思いますが、市報だけは今まで通りをお願いしたい。近所とのかかわりも薄くなり、ますます寂しくなる。

- ・医療イベント等の情報、広報等スマートフォン、パソコンでは確認不足になるのでは。都合の良い時間に回覧文書を全部確認できる今まで通りでよいのではないか。
- ・電子化されたものはPDFファイルが多すぎて手間と時間がかかる、一回の回覧にPDFファイルは1ケにしてほしい。期間中あまり時間がなく、1回しか電子化された回覧を見れなかった、しかもPDFファイルが多いため全部は見れなかった。
- ・紙媒体でA4の大きさのものをスマホの小さい画面で見ると見づらいし、紙媒体の回覧版は1回5分程度で見終わるが、電子版だと30分はかかってしまうため、見ないPDFファイルができてしまい情報の入手漏れが今後でそう。
- ・高齢者にはパソコン、スマートフォンの操作は無理があるとおもう（クリーン作戦等の日時がわからなくなる）。
- ・どちらの地区も高齢者がほとんど世帯主である現実からしたら、自ずと従来の回覧板を選択するのが自然だと思う。
- ・スマホは持っているが回覧の内容までは見ないので、従来通り回覧板希望。
- ・回覧文書なら回ってくれば見るが、メールやラインで情報更新毎にアラームで教えてくれなければ誰もアプリは見ないので、コスト削減のための改悪であり意味がない。
- ・高齢につき「回覧文書の電子化」は無理。従来の回覧板で回覧文書を確認したい。2か月間の市の広報については確認出来なかった。
- ・この辺も空き家が多くなって人が少なく、一日誰にも会わない日がある。高齢者が多く、近代的なスマホは持っていない人がいる。使い方がなかなか覚えられず、紙の回覧板のほうがゆっくり読める。
- ・2月末に行われた空缶拾いの回覧板が来ず、不参加に（翌日に知りその日に一人でいった）。回覧板がしばらく回らず不思議に思っていたところ、3/17知人にお会いした時に電子化のことを初めて知った。スマートフォン、パソコンは必要に応じて使用しているが、回覧板はご近所さんとの大切な交流手段ではないか。
- ・回覧板が無くなると、地域や隣同士の繋がりが遠のいてしまい、地区の組内（班）に入る必要性もなくなり、行政区、自治会への入会者及び脱会者が増えてしまう心配がある。
- ・高齢者にとってはまだまだパソコンやスマホを扱いきれない方々も多いのではないかと。難しい。
- ・高齢化に伴い脳梗塞で入院していた為、回覧板そのものが見られなかった。独居高齢者は世の中の情報そのものが伝わっていない。「わたしの街Kasama」は大変貴重な情報源として隅々まで読んでおり、今後の発展を祈る
- ・地域の回覧物があるため完全には回覧をなくせない。年配の方にはスマートフォンでの閲覧は不便を感じる。
- ・紙で回ってくれば間違いなく見るが、スマートフォンではまめに見ているわけではないので見逃しもあったように思う。地域の高齢の方を考えるとスマートフォンでは難しいかもしれない。
- ・回覧板は回ってくるから見るが、意識してスマホで見る事はなかなかない。回覧板は従来通りのほうが良いと思う。
- ・若い世代にとっては電子化でいいと思うが、高齢者にとっては回覧板によって情報をより良く確認できる。月に2回の事であり、以前に比べ区長・班長の仕事も減っており、班内及び区長との情報交換の場においても引き続き続けていきたい。
- ・80歳以上の高齢者にたいしてデジタル化を求められてもついていくことがなかなか難しい。アナログを希望する。
- ・スマホは便利だが紙の方が見やすい。
- ・スマホで読むのは、大変でした。

・情報としての見易さは従来の紙媒体が圧倒的に優位である。スマホの小画面では非常に見にくい。また、高齢者世帯ではスマホ等の扱いが不得手である事もあり、独居者等を考える時、回覧による様子確認も情報提供と併せて重要な役割と考える。一方で情報の電子化による即時性は回覧に比べて大変素晴らしいが、市広報およびお知らせの回覧配布を廃して電子化を進める事は時期尚早と考える。情報の即時性と見やすさを考える時、各戸にA4版見開きサイズのタブレットを配して活用する方法や、ネット回線によりTV画面に配信する等の方法論を深く掘り下げる事も重要と思う。

・電子機器に馴染みのない高齢者は浸透させづらく、高齢化の進む自治会ではなかなか受け入れられないです。また、スマホや携帯、パソコンなど閲覧環境は人によって違いがあるため、情報の受け取りに際し時間のずれが発生する可能性もあります。

・紙媒体は特に高齢者に対する情報伝達の手段として最も有効な手段である。デジタル田園都市や自治体DXも結構だがまだ時期尚早と感じる。逆に若者はフォローしてくれるようSNS発信をもっと積極的に行うべき。

・高齢者世帯がますます増加する中高齢者に優しい社会づくりを構築してほしい。DX化推進が遅れた原因は政策が間違っていた為であり、時期尚早である。

・スマホを持たない家族に内容説明が必要、紙媒体なら家族内などで回し読みができる。

・回覧板はお隣さんとコミュニケーションツールの一つにもなる。”

【どちらとも言えない】

・電子化は回覧板を回さなくていいが改めてスマートフォンなどで見なければならず、どちらが手間かと感じるかはその時の状況によって違うと思う。回覧板を回すのも情報の発信が紙か電子なだけで、どちらもあればその自治体は親切だと思う、一方だけでは不自由だと思う。

・回覧板があることでご近所の挨拶がある。電子化はいいと思うが都会化するみたい。

・慣れてくれば解決することだとは思いますが、小さなスペースにぎっしりつまった文字は頭、眼が疲れる感じは否めない。市役所の係の方が丁寧に教えてくださり、使用することはなんとか出来た。友達との会話でもどんどんついていける人たちには便利であるが、あまり得意でない方も相当数いるはず(年代によっては)。だからゆっくり電子化を進めてほしい。私もおいてきぼりにならないように頑張って活用できるよう努力する。

・スマートフォンになった場合、広報かさまはどうするのか。スマートフォンは文字が小さく見にくい。高齢者が多くなると対策が必要。相対的にはこれからの時代には良いと思う。

・ゴミ処理ハンドブック、ごみの分け方などは電子ではなく冊子、文書でもらいたい。

・保存版の文書などは紙媒体で確認して手元にほしい。

・回覧文書の方が確実に目を通す(早く次の方へ文書を回さなければいけないと思うから)。アプリは便利な面もあるものの、いつでも見られると思うと後回しになり情報キャッチが遅くなることもあった。習慣化されればアプリの方が便利かもしれない。

・スマートフォンで確認した場合、だれが確認しているかの把握はどのようにするのか。情報を見ている人とそうでない人が出ないような上手い方法があれば紙媒体でなくてもいいと思う(ゴミも減る)。

・区長制度について、私の住居地域では、周り当番で区長割当が来る。区長を引き受ける方は皆無です、従って年長者やくじ引き等で、仕方なくイヤイヤ割当期間を努めています。区長制度の廃止を望む。区長制度は、行政側で必要なのではないでしょうか?区長制度の設置目的がわかりません。

・いつも回覧入れが100均で購入されたものなのかすぐにボロボロになっているので、しっかりしたものに
変えてほしいです。また持ち運びの袋自体が清潔感を感じられないので、そこも回覧のデメリットに感じられ
ます。班内で希望を取って、紙媒体が欲しい家庭は取りにいく、電子がいい家庭は通知が来るといって無駄
を省いてもいいのではと思います。

・通常短期間(数日~1、2ヶ月)で処分されてしまうような文書は、ペーパーレス化や回覧作業の負担軽減
の観点から、現行の「回覧配布」は見直した方がよいと思う。一方、年間保管(健康づくり年間予定表等)や長
期間保管(ハザードマップ等)されるような文書は、スマホ等の活用が十分普及するまで(特に高齢者)、当分の
間、現行でよいと思う。スマホは、行政区未加入の人(回覧配布されていない)をはじめ、誰でも、いつでもど
こも、行政情報が入手できるという大きなメリットがあるので、最大限活かせるようにしていければよいと思
う。

・ゴミの出し方、ゴミの処理ハンドブックのような日常生活に関わるものは、高齢の為、電子化ではなく、冊
子、文書で欲しいと思う。

・私は大丈夫ですが、お年寄りなど使えない人はまだいると思います。どの様に使い分けが出来るかが問題で
す。使えない人がいるうちはどうしても、回覧板と二重になってしまうのが問題だと思います。

・自分はアプリでも閲覧できる環境にあるがそれができない方もいる。回覧文書以外にも募金案内やその他の
案内も一緒に届いていた。という事を考慮すると今まで通りの回覧板は継続しつつアプリでも配信する2つの
パターンがベストかと思います。